

金沢市「かなざわユースプロジェクト2022」への継続参画

団体名●池田ゼミナール(4年)／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

金沢市では、金沢市青少年団体連絡協議会として、長土堀青少年交流センターを拠点に、青少年が地域の活動に参画し、次世代を担うリーダー育成と地域活性化を目指す「かなざわユースプロジェクト」事業を2019年度より継続、推進している。

この事業は、高校生から30歳までの青少年を対象に金沢市についての理解を深め、次世代としての地域創生に寄与する人材育成をめざしており、本年度は、人間科学部池田ゼミナール9名のメンバーを中心に高校生1名、他大学の学生6名、社会人2名がメンバーとして、様々な活動に主体的に参画した。

活動内容

本年度においては、かなざわユースプロジェクトとして①「交流会」(青少年同士の交流や親睦を深めたり、活動の共有を図る活動)、②「ユースコラボ事業」(青少年が地域団体と協働して活動する)、③「サポーター事業」(長土堀青少年交流センターを使った自主企画やセンターの広報に取り組む活動)、④「野外活動」(野外でのキャンプや研修を通して、アウトドアの知識を身に付け社会を生き抜く力を育む活動)、⑤「スキルアップ研修」(ふるさと金沢のことや子どもとの接し方、地域活動などについて実践的な活動のために学ぶ研修)の5つの活動の柱があり、これらに則して、6/7(火)交流会を始めとして、2/12(日)の成果報告会までを含め全部で20回の活動が実施された。

全ての活動に関して、プロジェクトメンバーが主体的に企画、準備、運営、評価の全てに関わり、本学ゼミ生も高校生、他大学学生、社会人の同僚のメンバーをはじめ、関連行政職員、公民館関係者、そしてその他の地域活動団体の方々とも交流、連携の機会を得ることができた。特に地域の子どもたちから高齢者が来場した『長土堀「絆」交流フェスタ2022』においては、会場での全体受付、担当ブース運営等についての企画、運営活動を通して、実践的に地域活動に参画する機会を得ることができた。



交流フェスタにおける担当ブースでのゼミナール学生と参加児童たちの様子

成果、結果の考察

この事業は、金沢市こども未来局青少年健全育成センターの主管事業としての次世代人材育成及び地域活性化に向けた活動である。ゼミナール学生たちにとっては、直接的に地域での諸活動に実践的に参画し、メンバー相互のみならず、地域の方々や行政担当者とのやり取りを通して、企画、運営に深く関わることができ、大学での身近な学生間での活動とは異なり、他の人たちとのチームとしての活動遂行をして行く中で、企画・運営力、コミュニケーション力、そして主体的実践力の促進につながっているものと考えられる。

今後の課題、展望

本事業は、来年度も継続される予定であり、より多様なメンバーの参加が望まれる。今回参加したゼミナール学生は、全員が4年生であるため、来年度から社会人となる予定ではあるが、今後、可能な範囲で社会人として本プロジェクトに継続的に関わってくれることを期待したい。

なお、本事業については、『令和4年度「かなざわユースプロジェクト」事業報告書』(金沢市青少年団体連絡協議会、2023年3月)においても、その取り組みについて記載されている。